

科目名	家庭支援論		担当教員	佐藤隆司		
			担当形態	単独		
テキスト	適宜紹介。 必要に応じて資料配布。	単位数 授業形態	2単位	講義	開講時期	前期
<p>講義概要</p> <p>■到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭の意義と機能を理解する。 2. 子育て家庭を取り巻く社会的状況及び現代の家庭における人間関係を理解する。 3. 戦前、戦後の家族の変遷を理解する。 4. 子育て家庭の支援体制（社会資源、関係機関の連携・協働）を理解する。 <p>■授業の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 支援の前提には人の歴史と“育ち”の環境の理解を要する。戦後70年間の“育ち”の環境を辿ることとし、実際の支援に結び付けることとする。 2. 児童虐待などの家庭問題の要因（背景）を理解して早期発見・通告・介入・支援などの適切な支援に活用する。 <p>■授業計画</p> <p>第1回 家庭の意義と機能① 家庭機能 第2回 家庭の意義と機能② 家庭支援の必要性 第3回 家庭生活を取り巻く環境の変化① 昭和29年～昭和34年 第4回 家庭生活を取り巻く環境の変化② 昭和35年～昭和39年 第5回 家庭生活を取り巻く環境の変化③ 昭和40年～昭和44年 第6回 家庭生活を取り巻く環境の変化④ 昭和45年～昭和49年 第7回 家庭生活を取り巻く環境の変化⑤ 昭和50年～昭和55年 第8回 家庭生活を取り巻く環境の変化⑥ 昭和56年～昭和64年（平成元年） 第9回 児童虐待の理解① 虐待の定義の理解 第10回 児童虐待の理解② 発見・通告・介入・支援、市町村要保護児童対策地域協議会 第11回 子育て支援を巡る社会資源① 保育所入所児童の家庭支援 第12回 子育て支援を巡る社会資源② 相談窓口の理解 第13回 子育て支援サービスの課題 第14回 期末テスト 第15回 総括</p> <p>■準備学習</p> <p>前回授業の復習と次回授業の予習。 「分からない」は「(何が)分からない」と明確化して授業に取り組むこととする。</p> <p>■評価方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業態度、参加意欲、発言内容、取り組み — 20% ・ 期末試験 — 60% ・ 課題の提出 — 20% 						
参考文献	授業中に適宜紹介する。	特記事項	講義中心。（私語、飲食、化粧、途中退室、電子機器使用などは禁止） 【課題等のフィードバック方法】 試験後、模範回答を提示して解説する。			
卒業・免許状・資格との関連	保育士資格必修	幼				
		保	保育の対象の理解に関する科目			